



◆「である」と「する」こと——

少し前の話になりますが、11/24に川口泰司さん(山口県人権啓発センター事務局長)にお話しいただいた、人権講演会について書きます。「ネット人権侵害と部落差別の現実」というテーマのお話しでしたが、「差別をしない」で留まらず、「差別を許さない」生き方へ志向してほしいという訴えが、強く印象に残りました。“差別をしない自分”という状態(“である”自分)を保つためには、“差別を許さないために行動できる自分”(“する”自分)でなければならないという内容でした。そして、そのためには正しく知ることが不可欠ということで、実に多くの事例を用いて説明をしてくれていました。

いろいろな人の、いろいろな講演を聴いてみる——その意義は、様々なことに対して自分が知る範囲を広げてくれるところにあると、私(高崎)は思っています。講演では、(当たり前ですが)自分とは異なる人が、自分の気付きもしなかった範囲の話をしてくれたり、自分の気付きもしなかった切り口・見方を提示してくれます。そうした新たな気付きを吸収することで、その後自分が触れる知のアップデートが促されます。知っていることや物事の見方のパターンが増えると、自分の目に留まる＝意識できることが多くなります。一般的に“アンテナを張っていると感度が高まり情報をキャッチしやすくなる”と言われる現象です。私はこれを、“引っかかる”と表現しています。知や見方は私にとって網目のような存在で、網の目の形状や素材が多様であるほど、自分の網に引っかかることが豊富になる——というイメージです。みなさんであれば、探究の授業で、あるテーマについて深めていると、ふとした日常のニュースのなかから、そのテーマに関係する話題が目にとまりやすくなる——その感覚が、これにあたります。

後日、新聞に目を通して、講演を聴いた

効果＝“引っかかる”が、早速現れました。サッカーW杯カタール大会に関する記事で、カタールの人権問題に関連したものでした。そこでは女子サッカー選手の下山田志帆さんの話が新聞に掲載されていました(下山田さんは2017～19年にドイツ女子2部リーグでプレーしていたそうです)。

ドイツで活動していた頃に人種を揶揄された際、周囲がそれを強く止めてくれた経験をした。「差別に対し『間違っている』と即座に抗議できる雰囲気がある」。

朝日新聞 2022年11月30日

また、川口さんの講演のテーマがインターネット社会における人権侵害であり、YouTube上の差別動画と、それに対する抗議活動についての言及がありました。このことも、新聞で話題にあがっていました。

グーグル社は、運営する動画投稿サイト「ユーチューブ」に投稿された被差別部落を撮影した動画約200本を削除した。同社広報部は削除の理由を「ヘイトスピーチに関するポリシー(指針)に違反した」としている。

朝日新聞 2022年12月2日

今までもこうした記事は目にしてきたのですが、“目にしてきた止まり”だったように思います。「そうか、講演で言っていたことはこういうことか」と自分の中に留まるようになったのは、講演を聴いて“引っかかりやすくなった”が故なのでしょう。

ところで、“である”自分”はともかく、“する”自分”にシフトしていくことは容易ではありません。講演では、それに対するヒントにも触れていました。「ファーストペンギンになってほしいけど、なれなくてもいい」「ただ、ファーストペンギンが現れた時に、それに続くセカンドペンギン、サードペンギンには、なってほし

い」という件⁵⁹です。最初に声を上げた人がどれだけ正しいことを言っても、孤立させてしまうと何も変えていくことはできない——セカンド、サードペンギンがファーストペンギンに続いていくことで社会は変えられるという言葉には、強い説得力がありました。

講演後に、質問がたくさん出たのには驚きました。訊き方の作法も良かったし、質問内容も、自分の見聞きした経験によるものもあれば、問題を大きな視点でとらえたものあり、どれも一考に値するものでした。手を挙げた人だけでこの数・この内容ですから、“こういうことを訊きたいな”と感じた人は、もっといたのだろうと推察します。体育館での光景を目にして、77期生に頼もしさを感じました。講演中も、川口さんの口調が変わった場面では、サッと体育館の空気が張り詰める感じが感じられ、みんなしっかりと聴いていたことがよくうかがえました。

◆合唱コンクールの代替行事について

年度初めの行事予定に記載してあった合唱コンクールは、実施が未だ困難であるとして、以前お知らせした通り中止になりました。その代替行事として、クイズアプリ「Quizizz!」を使った学年クイズ大会を企画しました。

1月27日(金)午後の時間帯をそのまま使って学校内で実施します。企画と段取りは学年の先生で考えましたが、事前準備やクイズ考案、当日運営は1年生有志です。物事がうまく回っていくためには、意欲をもって引っ張っていく人が必要なのは勿論ですが、うまく引っ張られてあげる(巻き込まれてあげる)人の存在も不可欠です。引っ張る側だけでも、引っ張ってもらっている側だけでも、物事はうまく回りません。行動力とは、引っ張る側だけのものではありません。引っ張られてあげるのも、立派な行動力。

77期生の“よし、やってみるか!”という行動力の発揮を楽しみにしています。

◆時間厳守を改めて

入学してから、早8ヶ月が経過しましたが、それ故に、悪い意味での“慣れ”も現れてきました。77期生は、集会などでの集まりがきっちりできていて、時間通りに始められることに、学年の教員一同、感心をしていたのですが、先日の人権講演会では4限開始のチャイムが鳴ってもまだ整列が完了していませんでした。後期中間試験での提出物も、(やむを得ない事情は除くとして)提出遅れや、試験の後に教室で書いている姿(これは本当に意味がない!)が見られました。授業においても、授業開始のチャイムが鳴ってもまだ自分の席についておらず、おしゃべりが続いている光景を、いくつかの教室で目にします。

開始のチャイムは、鳴ったその時から授業や講演が始まる合図です。提出期限は、完全な状態の提出物が全員分出揃う日です。“広義の時間厳守”の話は、4月のオリエンテーション、6月の学年通信「悉有」第6号に続いて3回目です。同じことを何度も指摘されるのは成長できていない証拠であり、これらが守られていないのは自己管理ができていない証拠です。そして、大学入試ではこの自己管理能力が大きく作用してきます。きっちりできていない人もたくさんいますが、改めて自分を律するよう心がけてください。

◆当面の予定

- 12/15(木) 模試成績資料返却
 - 22(木) 後期中間考査の成績票返却
 - 23(金) 授業2コマ+大掃除+全校集会
- 1/5(木) 3年生の授業スタート
 - 10(火) 1・2年生の授業スタート
 - 14(土)・15(日) 3年生 共通テスト
 - 16(月) 1・2年生 進研模試
 - 3年生 共通テストリサーチ
 - 18(水) 5限がLHRに変更
 - 韓国泳薰高校との交流会
 - 19(木) 5限がA水5に変更
 - 27(金)午後 Quizizz!クイズ大会